

第3次つるが男女共同参画プラン「平成28年度年次報告書」に係る  
男女共同参画審議会からの御意見、御質問 一覧

NO	ページ	施策	計画項目	実績通番	担当課	御意見、御質問	担当課からの回答
1					市民協働課	全体的に「男女共同参画の視点」を忘れているような項目、取り組み、実績、成果が多い。直接関係ないような取り組みをいくらやっても男女共同参画に関する成果は期待できない。(昨年と同じが多い)	市民協働課の実施事業はもとより、各課の実施事業についても今後少しでも男女共同参画の視点を取り入れてもらえるよう啓発していきます。
2					市民協働課	ここまで広く取り組むことも「男女共同参画」で求められることなのか。	第3次プランについては、第2次プランより項目を減らしていますが、次回プラン策定時に男女共同参画の範囲や取り組む範囲について、頂いた御意見を踏まえ検討いたします。
3					市民協働課	「計画項目」や「取り組みの概要」のところに”男女共同参画”の語があると、その視点を念頭に置いて取り組んだり成果を書いたりできるのではないかな。	計画項目や取組の概要はプランで定めているため、平成32年度まではこのままの状態を実施及び評価を行い、次回プラン策定時に頂いた御意見を踏まえ検討いたします。
4	9	2	③	a	市民協働課	実績は～実施とあるが、評価は「A」「㍷」である。実績数やこういう所が評価ができる等が必要では。	平成27年度と比較すると平成28年度は、相談員が相談者とともに関係機関へ同行する案件が増加し、きめ細やかな対応ができたため評価を「A」及び「A」 「㍷」といたしました。
				b			
5	10	2	④	b	市民協働課	結果が「A」評価であるが、大きな効果とは具体的に明記が必要では。	
6	23	7	②	a	市民協働課	結果評価が「検」「㍷」「c」であるが、父親も参加者が数人だけがいる。くり返し行い受講機会を多くさせる必要があると思われる。	参加者が少ない回もあったので、結果評価は「検」「㍷」「c」とし、多くの方に参加してもらえるように創意工夫し、事業内容を検討予定です。
	23	7	②	b	子育て総合支援センター	結果を具体的に記載した方が評価につながるのではないかな。例) 毎週/年、平均参加者	平成28年度パパと遊ぼう実績 毎週土曜日開催 開催日数102回 (子育て51回 栗野51回) パパ参加人数416名 (子育て214人 栗野202人) 平均参加者数4.07名/回 (子育て4.1人/回 栗野3.9名/回)

NO	ページ	施策	計画項目	実績通番	担当課	御意見、御質問	担当課からの回答
7	28	9	①	a	長寿健康課	5,444人（利用者数）支援しているので方向性は「→」が良いのでは。 対象年齢見直しにより利用者数は少なく予想していると思うが、取組みは「→」ではないかと思えます。	対象年齢は見直しましたが、利用者への支援内容は変更せず継続して行うため、ご意見のとおり、取組みは「→」とさせていただきます。
8	48	19	①	a	総務課	男女共同参画社会基本法に基づく男女共同参画計画に通じたポジティブ・アクション（積極的改善措置）をはじめ、様々な取組みを推進してきました。その甲斐あって、身の回りにも、地域でも少なからず変化を読み取ることができ、昨今では大きく変わり始めるのではという兆しも見え始めています。	女性の管理職登用については、年次報告書のとおり「女性リーダーのためのマネジメント研修」への派遣や、試験や人事考課といった客観的判断基準に基づく昇格者の決定等を通じて、積極的に取り組んでいるところです。
			②	a		また、平成27年8月には、女性の採用・登用・能力開発等のために事業主行動計画を事業主に義務付ける、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号。（「女性活躍促進法」）が成立し、男女共同参画社会に向けた取組みが一段と加速される、新たな段階の到来を感じます。 そんな中、目標値に達していないのに施策19の①②の成果/実績に対して、これでいいのだろうかと思わずにはいられません。 今一度、ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の意味を再確認したくなりましたし、女性活躍促進法（特定事業主行動計画）が、全体的に反映されていないように思えますが如何でしょうか。	
9	56	24	③	a	市民協働課	専門知識を要する場面では、一般公募の人の発言数が少なくなりがちである。	専門知識を要する場面での一般公募の方の発言が少しでも増加するように、より一層発言しやすい環境づくりやわかりやすい資料づくりに今後も努めたいと思えます。